

(様式第4号)

上田市庁舎改修・改築検討委員会 会議概要

1 審議会名	上田市庁舎改修・改築検討委員会
2 日時	平成29年4月20日 午後3時00分から午後5時10分まで
3 会場	上田市役所本庁舎5階第1委員会室
4 出席者	高木直樹会長、丸山正明副会長、小野将司委員、金井美奈子委員、沓掛由利子委員、小山陽三委員、藤川まゆみ委員、宮本智夫委員
5 市側出席者	清水庁舎整備担当参事、翠川都市建設部長、海瀬行政管理課長、田村建築課長、倉島財政課長、若林庁舎整備室長、梅原建築担当係長、小林庁舎整備担当係長、宮原庁舎整備担当係長、渡辺行政改革担当係長、吾妻庁舎整備室主査、野田建築課主任
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 6人
8 会議概要作成年月日	平成29年4月**日

協議事項等

1 開 会 (若林庁舎整備室長)

2 報告事項

(1) 第7回検討委員会について

- ・資料に沿い、2月13日(月)に開催した第7回検討委員会の会議概要について若林庁舎整備室長から報告

3 検討及び協議事項

(1) 市民説明会・パブリックコメントの状況・結果について

- ・資料に沿い、若林庁舎整備室長から市民説明会の状況・結果について説明
- ・以下、協議

【委員】・面積の件で、10,000～13,000㎡と今までも話をしてきたと思うが、創造館、市役所での説明会で、できるだけコンパクトにという理由で「10,000㎡ぐらいが無難、いいのではないか」と説明しているが、10,000㎡ぐらいと見込んでいった方がいいのではないかと感じた。

【事務局】・面積の下限を決めるにあたり、もう少し細かく、部署の配置を積み重ねていく必要があると思う。ただ、現状の8,600㎡では狭いという絶対条件があるので、それを解消するには(面積を)増やすことが必要だろうということで、今後の配置計画によっても違ってくるが、当面は10,000㎡という線で考えていければということである。上は本当にきりがなが、県内他市の一人あたりの平均面積が13,000㎡程度ということや、上田市としてそれほど余裕があって作るべきではないということもあり、13,000㎡という形で、基本構想はそうに明記させていただいた。

【会長】・市民の方の話を読んでいる限りでは、「10,000㎡を基本的には考えていて、どうしても足りない部分に関しては少し増えることはあるかもしれない」くらいの方が、コンセンサスは得やすいという感じはした。

- ・今この場で10,000㎡という縛りをつけることはできないが、意見としては「10,000㎡でも十分ではないか」という意見が結構ある」ということは理解して、今後の議論を進めていかなければいけないと感じている。

- ・資料に沿い、若林庁舎整備室長からパブリックコメントの状況・結果について説明
- ・以下、協議

【会長】・2番の質問で、「階数をもっと高いビルにしたらどうか」という話だが、高さの制限があるので、「建築基準法や条例を遵守し」というのはその通りだが、「高さ制限の関係で何階以上

は建てられない」という書き方のほうがわかりやすいと思う。

【事務局】・階数、階高といったものは、今後の設計の中で判断されていくので、今の時点で何階建てという表現は難しいと思う。

【会 長】・実際、建ぺい率、容積率の問題もあり、そんな簡単には言えないというのはわかっているが、今の時点で高さ制限があるので、マックスの高さは言えるのではないか。

【事務局】・この後にも、高さに関する回答があり、そこでは 25m と答えているので、25m ということは言えると思う。

【会 長】・「25m という高さの制限があります」ということは書いておいてほしい。

・この回答の仕方だと、「せっかくパブリックコメント出したのに、こんなこと聞きたいんじゃないよ」という回答だとすると、今後、何回もパブリックコメントをお願いしたときに、「どうせ何言ったって駄目だよ」となるのは避けたいので、できるだけ質問した人が、「そういうことなら」、「じゃあ次のステップね」、「それはしょうがないんだ」ということがわかるような回答であってほしい。

【委 員】・7 番のところに、集成材を使ったビルが提言され、市の回答は「総合的に検討します」となっているが、集成材を使った場合、5 階建てはできる可能性はあるか。

【事務局】・可能性としては他の事例があり、まったく無理ということはないかと思われる。まだ、そこまで検討はできていないので、いろいろな法令等を検討する中で、可能かどうかという判断をしなければならないと思う。

【委 員】・6 番のところに、「屋上を展望広場として」と提言されているが、現実的に 5 階建ての屋上は、屋上を開放するぐらいはできるが、果たして展望はできるのか。

【委 員】・レストラン等、柔軟性はあってもいいかもしれない。

【事務局】・そういうものは、スペースの余裕や、管理の問題もあるので、どちらかというあまり前向きには難しいということもある。ただ、一部、市民スペースのような中でできればというようなこともあり、最初から全部排除することはいかなものかということである。

・先ほどの集成材も、コストもかかり、規模の問題もあるが、できる可能性はあると思う。

【会 長】・集成材を使って、相当大きな建物を作ることはできることは間違いない。ただ、すべて集成材で作るとするのはなかなか大変だと思う。

・木造化の建物はそんなには難しくないので、壁などが木で、県産材、上田市産材で壁を貼るといようなことは比較的容易かと思う。

・実際の設計をするときに、非常にノウハウのある設計事務所なりゼネコンが提案してきて、かつコストも安くてというものが出てくれば、検討するに値するのだろうと思う。

・お城をイメージしたものにすると屋根を付けざるを得ないので、そうした時に、屋上に展望レストランが入るかということ、難しいということもあるので、そこはデザイン的なものでどうしても分かれが出てくる。それで、どうしても一部の人には「何だ、あれ」となってしまふ。すべての人に納得していただくのはなかなか難しいだろうと思う。

・最終的に、設計がプロポーザル等を受けたときに、どちらがいいのかという話になると思う。我々の議論を議事録で読んでいただければ一番いいが、回答の書き方としてはこのくらいしか書けないかもしれない。

・「ここではなくて違うところに、もっと広い土地で建てたらどうか」という意見に対しては、そこは、「総合的に」ではなく「ここでやるのがベストですよ」という言い方で。

【会 長】・ヘリポートの場所は決まっているのか。

【事務局】・ヘリポートはある程度決まっている。

【会 長】・そうだとすれば、例えば、「ヘリポートについては、上田市地域防災計画の中で市内全域の体制について具体的にどこに設置すると定められています」というような書き方をした方が、「具体的に定められています」という書き方よりもわかりやすい。

【事務局】・具体的に場所もということか。

【会 長】・「その場所がどこで、そこで全部市の防災のための対応ができるように考えている」と書いてある方がいい。「具体的に定められています」と書かれると、その具体的な内容をわかっ

ていない人にとっては、「何なんだよ」という話になってしまうので、例えば、そういう書き方で、「そこを拠点としてちゃんとやっていきます」と書いてあれば、「そうなんだね」となり、さらに、「屋上には難しい」という話になる方が、きちんと答えているかなという気がする。

・「ちゃんとほかのところに決めているから、それでいいでしょう」という書き方ではなく、なるべく質問した人がわかっていただくことが重要だと考えている。

【委員】・8番の方の、「人口動態の変動をどのように汲んでいるか」という意見は何度も説明会でも出てきているが、職員の人数や、建物の機能はそんなに人口と比例して減ってはいかないということをはっきり言ってもいいのかと思う。

・市庁舎が建てられた1967年の数字がわからなかったが、その2年前の1965年には13万8,000人ぐらいの人口で、今が16万人弱なので、1.5割ぐらい増え、市庁舎の面積はここで足らず、何か所にも増えているのは、機能の問題で増えてきたという説明をしてもいいかと思う。

・今後、おそらく20年かかるか、かからないかぐらいで（人口が）14万人ぐらいに減っていくという試算を市の方でもしているが、今までの数字と市役所との関係でみると、元に戻るのが十数年かかるので、その間ずっと大変なわけで、高齢化も進み、今まで少なかった仕事が増えたりもするので、「人口が減るから市役所は狭くてもいい」という意見はあまり的を射ていないのかと感じた。

【事務局】・実際、合併もしたりしたので職員は増え、いろいろな要素が組み合わさってのことだと思う。仕事の中身は、説明会ではそういった回答もさせていただいたので、そういうことも加えて考えたい。

【委員】・これから10年、20年経つと、上田市の人口の半分は高齢者になってしまうという方向性が見えてきているわけである。そういう中で、庁舎の基本的なものを考えていかないと、総合的に難しい問題だという感じがした。

【会長】・8番の人の質問に対して、庁舎が対応するわけではなく、職員が対応するわけなので、「職員がこれまで以上に市民のサポートをしなければいけないことが増えてくるから、必ずしも人口減になろうとも、建物もそれに比例して減らすことはできないですよ」ぐらいは、書いてもいいし、「高齢化はすごい勢いで大変なことになっている」ということは伝わる方がいいのかと思う。

・子どもがもっと増える施策がうまくいって、若者が定住して、結婚して子育てがどんどん行われてみたいなことを前提にも書けないと思う。

【事務局】・（人口が）減るということで、コンパクトにして、「将来余るなら、今から（面積を）少なくして」という意見も一部あったが、当座は本当に必要で、今より小さい面積では職員が働けない。

・ただ、現在、分散しているのは事実で、職員の数が減るということも想定はされるが、（人口と）並行しては減らないと思う。（職員が）減ったときに、新たに作った庁舎の中に納まるようになるかもしれない。そうすると、今、別のところにいる職員が戻ってくるということもある。

・さらにもっと（職員が）減れば、南庁舎は30年経てば耐用年数が過ぎてしまうので、その時は取り壊すということもあるし、市民のための施設に特化するか、違う用途にするかということもあり、南庁舎も含めて柔軟な対応をしていきたいと思っている。

【会長】・県内には立派な庁舎を作った市がいくつもあるが、逆に「人口が減った時にどうするんだろう」ということは絶対にあるので、そういう意味では、この人口規模の割には小さいものを作ろうとしているのは、結果論としては大正解かもしれないという気はする。そのことが伝わればいいが。

【事務局】・基本計画の中では、その辺のところもしっかりできればと思う。

【会長】・市民説明会・パブリックコメントでいただいた意見について、最終的にこの基本構想のところをどのように反映させることになるのか。

【事務局】・市民説明会、パブリックコメントで市民の皆様からいろいろなご意見、ご質問等をいただいた。ただ、その内容については、今回の構想(案)に対して、反対、否定的な意見はほとんどなく、いわゆる、機能、大きさをどうするのかという意見であり、市としては、この構想(案)については特に修正は必要ないと考えている。

・いただいた意見は、基本計画をこれから策定する中で参考にし、さらに具体的な方向性を基本計画の中で示していければと考えている。

【会長】・この委員会の意見としては、パブコメ等への回答の部分で対応ができていますので、基本構想そのものには手をつけなくていいということにする。

(2) 上田市庁舎改修・改築基本構想について

・資料に沿い、若林庁舎整備室長から上田市庁舎改修・改築基本構想の前回からの修正点について説明
・以下、協議

【委員】・平成26年度に詳細な構造解析をしたというのが15ページには載っていないので、この文章を15ページかどこかに載せてもらえればと思う。一文いれておいていただければ、よりわかりやすいと思う。

【会長】・あるいは7ページのところにも、「なお、平成26年度には詳細な解析をして、この値と若干違う結果が出ています」みたいなことを入れればと思う。

【事務局】・いろいろ考えたが、12ページに、今までは「26年度にやった」ということしか書いてなかったもので、詳細に加えたということである。

【会長】・あるいは12ページのところで、「26年度から詳細な構造解析に基づく耐震補強基本設計等を行いました。その結果、南庁舎の5階部分は十分な強度を持っていることを確認しました」と、そこに書くのも手かもしれない。

【委員】・(IS値が)0.75以下だからということで、これは今は違うのか。

【事務局】・詳細に(構造解析を)やったら、0.75以上だったということである。

・平成20年度にやったものをいろいろなところで説明したり、市として耐震計画を進めてきたので、それをまた26年度にやったものを載せると、またそこで「何だ」となってしまうので、そういう注釈を加えて、まとめたいということです。

【会長】・そういうことであれば、この基本構想については、これで認めていただいたということで。

(3) 上田市庁舎改修・改築基本計画の策定について

・資料に沿い、若林庁舎整備室長から上田市庁舎改修・改築基本計画の策定について説明
・以下、協議

【会長】・これからやることは、基本計画を作って、その基本計画に基づいて基本設計が出てくる。その基本設計に基づいて実施設計ができて、実際に建物ができていくという話である。例えば、「歴史的なもので、木造にすべきだ」とか、「屋上に展望レストランを作る」というものを基本計画の中で書けば、それに沿った基本設計が出てくると思うが、基本計画の段階でそこまで書き込まないで、ある程度、設計者の自由にまかせておけば、そこから先で出てくるということである。

・パブコメ等では、基本設計のことに言及する人が相当いたわけで、「できるだけ考慮します」という回答がいくつもあったが、それは我々が基本計画を作るときに、そこから先、どうやって踏み込んでいくのが基本計画である程度考えるべきで、当然そこには面積、予算の話もあるので、そういったものを総合的に考えなければいけない。

・庁内のワーキングの方は、各部署それぞれこういう機能が必要だというのが積算されて出てくるので、当然建物としては大きくなりがちだが、基本構想のスタンスを守りながら、よりよいものを将来的に市民の立場から見て考えなければいけないというのが我々の役目

だということになってくる。

【委員】・基本構想はこういうことでいいと思うが、これから基本設計に入っていくにあたって、一番は、建物の建築費がどのくらいかかるのか、できあがった後のランニングコストがどれくらいかかるのかだと思う。基本計画に入るところで相当いろいろな角度から練ってもらわないといけないと思う。

・市で管理・運営しないで違うところへ全部まかせるという方法もあるし、いろいろな方法が考えられると思う。

【会長】・基本的には、我々は基本構想で議論した部分をベースにして、ディスカッションしていかなければいけないし、基本計画というのは、市役所の建物を基本的には決める計画にもなるので、責任を持ってやっていかなければいけない。時間があまりないということもあり、今日の段階では皆さんにその覚悟をしていただければいいと思う。

【委員】・できた市庁舎のエネルギーの部分は、あとから意見をいただいたときに、少し責任を感じるなと思い、外部の方から勉強しようと計画をしている。外部の方で建築の関係と、エネルギーの関係、両方詳しい方をお呼びして、計画したいと思っている。全員の日程が合うのは難しいかと思うが、できるだけ多くの人に参加できる会にしたいと思っているが、いかがか。

【事務局】・そういうところに自分たちが行って、そういう話を聞き、また、委員の皆さんも都合をつけていただければ、そういう面ではいいかなと思っている。

・長野大学社会福祉学部の皆さんと上田千曲高校の生活福祉科の学生の皆さんとで、バリアフリーに関する取り組みを始めているということで、そちらの皆さんからも、何か提案もできればというような話もあるので、それと同じような形になろうかと思うので、そのようなことを複合的に研究していければと思っている。

【委員】・先ほどもあった ICT の問題、LAN 配線の関係などは、意見交換も必要かと思う。

【事務局】・いろいろなことを情報として入れていただくのは構わない。

【委員】・5月から基本計画ということだが、改修ではなくて改築の方向性が出ているので、名称を「市庁舎改築検討委員会」としてはどうか。

【事務局】・本庁舎は改築、建て替えだが、南庁舎もあるので、南庁舎の実施設計も基本計画には入れ込みたいということもあり、あえて変えない形でお願いしたいということである。

【会長】・環境、バリアフリー、ICT をということで、いずれも、そこで話して、「こういうような市庁舎にしてほしい」というものを、フリーなディスカッションの場を設けて、その中で「こういう風にしていった方がいい」というものを出していただければ、当然、重みのあるものとして受け入れることができると思う。

・ICT 利用に関しても、いろいろな資料の保存の問題や、分散している各地域自治センターとのデータのやりとりによって、いかに市民の方が上田のこの本庁舎に来なくて済むやり方を、ある程度踏み込んだ議論をしていただいて、ぜひ、基本計画の前に提言のようなものをいただくとありがたい。

【事務局】・基本設計のときも、細部のことは反映させるタイミングがあるかもしれないので。

【会長】・基本計画ができたあとで提言をもらっても困るということもあるので、その辺のところも考えて、「最低限ここは」というようなことで議論していただきたい。

【委員】・(勉強会は)公開ではなくて、このメンバーだけの方がいいか。公開性を持った企画でやろうと思っているが。

【会長】・公開の方がいいと思う。

【事務局】・公開で、そこへ私たちも行くし、委員の皆さんも都合がつけば来てもらう。

【会長】・できるだけ公開の方がいい。一般市民の方に、いいものができたと思っていただけないと何も意味がないので。

【委員】・建築とエネルギーの関係でいろいろ調べたら、神奈川県の開成町というところで、今は基本設計まで進んでいて、今までの市庁舎の半分ぐらいのエネルギーを目標に設計しているということで、参考にしていればと思う。

(4) その他

・次回開催日程について

次回の検討委員会は 5 月 22 日 (月) の午後 3 時から開催する。

協議結果 : ○パブリックコメントへの回答については今回の検討会での協議を踏まえ一部修正する。

○基本構想 (案) への反対、否定的な意見はほとんどなかったため、基本構想 (案) について、パブリックコメントの内容を受けての修正はしない。

○委員に前回送付した基本構想 (案) からの変更点については、今回の協議を踏まえて修正する。